



第17回日本語スピーチコンテスト

昨年11月15日、こども未来館ここにこ2階スタジオで「第17回日本語スピーチコンテスト」を開催しました。出場者22名の中から、豊橋市国際交流協会会長賞を受賞した2名のスピーチを紹介します。

【小・中学生の部】

「自分にとってのブラジル」

豊橋市立東部中学校3年 ^{ナガミ}長嶺 いさお
(国籍:ブラジル/日本生まれ)

私は日本で生まれ、日本で育ち、日本語で勉強し、友達も日本人がほとんどです。つまり私は日本人とほとんど変わりません。ただ一つ明確に違う所があります。それは私にブラジルの血が流れていることです。国籍もブラジル人ですし、もちろん両親もブラジル人です。それが日本人と違う所です。今は胸を張って「私はブラジル人です。」と言えます。でも少し前は違いました。



私は小学生の頃、土曜日だけポルトガル語を習う学校に行っていました。朝起きるのがめんどくさいし、第一なぜ外国語を習わなければいけないのか分かりま

せんでした。自分はポルトガル語を話せたからです。勉強をしなくても両親と話すのに困りませんでした。

私は将来、日本で働き、日本の人と結婚し日本人のように日本で暮らしたいと思っています。そんな私にポルトガル語は必要ないと思っていました。そんな中、私は家族とブラジルへ旅行にいきました。最初はあまり自分の国だという実感がありませんでした。しかし、親戚の人達にあたたかく迎え入れてもらい、ブラジルの良い所をたくさん教えてもらううちに、何か私の中で落ちつくほっこりした感じがありました。ポルトガル語をもっとしっかり勉強しておけばよかったと思ったのもこの時です。

日本に帰ってきて日本の友達に日本語で話しかけられた時、私は普通に日本語で話しました。でも今までとは違い第二の言語で話していると脳裏をよぎりました。この旅行で私は日本人ではなくブラジル人だと気づいた気がします。

日本で日本人のように暮らしたいというのは今でも変わりません。しかし、もし「名前はカタカナだね。外国人なの?」と聞かれたら「そうです。私はブラジル人です。」と胸を張って答えようと思います。

【高校生以上一般の部】

「幸せは何ですか?」

愛知県立豊橋西高等学校1年 ^{カトウ}加藤 あゆみ
(国籍:ブラジル/2008年12月来日)

皆さん、こんにちは。私の名前は加藤ラビニアです。私はブラジルで生まれ、8歳の時までブラジルで生活していました。祖母が日本人で、親が日系ブラジル人です。その後日本に来て、9歳の後半で日本の学校に入りました。

日本に来てから、日本は非常に高度なテクノロジーを持っていることに気づきました。そのテクノロジーが有効に利用されれば、私たちにたくさんの利益をもたらします。しかし、それが悪用されてしまうと、数々の問

題を引き起こします。その一例と言えるのが、LINEです。LINEは最近数々の問題を起こしています。その中で最も多いのが、悪い企みを持った男性が、女性とLINEを通して出会い、乱暴などをしてしまう事件です。また、人の悪口を書き込むような悪い人もいます。高度なテクノロジーが悪用されるのは悲しいことです。

ここで、皆さんにご紹介したい人々があります。ブラジルのアマゾン州に住むリベイニーニョという人々です。リベイニーニョは、アマゾン川の水上に家を建てて生活しています。世界最大級の川に住んでいるにも関わらず、飲料水とし



ゆたかな地域社会
づくりに奉仕する



地元とともに――

理事長 竹田知史

蒲郡市神明町4番25号

☎ <0533> 69-5311 (代)
<http://www.gamashin.co.jp/>

「とよしん」は、ずっとこの街といっしょです。



おたくも うちも

豊橋信用金庫

理事長 吉川一弘

豊橋市小畷町579番地 ☎ (0532) 52-0321 (代)
<http://www.toyo-shin.co.jp>

て利用できる水が不足しています。そこには電気は存在しませんし、学校は小学校までしかありません。また、医者が年に一度しか来ないところもあって、数ヶ月も病気に罹ったままになってしまうこともあります。しかし、川の近くには小さな楽園があります。そこでは植物と動物が仲良く生きていて、まさに自然が生み出すすばらしいコンサートやショーです。マミラウアという自然保護区があるのですが、マミラウアは人間が必要最低限の木材を伐採して、必要最低限の漁をして、自然に害を与えることなく生きていけることを証明しました。現地

に住んでいる人々は、だれも陸地に住みたいとは思っていません。なぜなら、彼らの住んでいるところが、とても平和だからです。

彼らから学んだことは、最新型のiPhoneを持っていないからといって、LINEでだれかに答えられなかったからといって、悲しんだりいらだったりするものではない、ということです。この世界には、私たちが持っている物の半分も持っていないのに、私たちよりもずっと幸せな人たちがいるのです。皆さんにも、幸せとか豊かさについて考えてほしいと思います。

【第17回日本語スピーチコンテスト】 その他受賞者

◆豊橋市教育委員会賞	ツツイ 【小・中学生の部】 筒井 ラリサ(岩田小学校6年・ブラジル) 「ブラジルと日本の違い」	ホリエ 【高校生以上一般の部】 堀江 ケニー(豊橋西高校1年・フィリピン) 「世界平和に向けて」
	◆特別賞	アラウジョ・ミシエラ(東陽中学校3年・ブラジル) 「私の家族」



協賛：豊橋みなとライオンズクラブ

第6回東三河日本語スピーチコンテスト

東三河5市(豊橋、豊川、蒲郡、新城、田原)に在住し、各市から選ばれた外国人が、地域での生活や日頃感じていることを日本語で発表します。豊橋市からは上記コンテストから選ばれた10名が出場します。

- 日 時／平成28年1月17日(日)
午後1時半～
- 場 所／豊橋市公会堂 大ホール
(豊橋市八町通2丁目22番地)
- 入 場／無料 ■申込み／不要
- 問合せ／豊橋市国際交流協会
☎0532-55-3671
✉tiea@tcp-ip.or.jp

世界を体験！ 平成27年度 中学生海外派遣

豊橋市国際交流協会では、次代の担い手となる青少年を海外に派遣し、教育活動への参加や生徒間の交流、ホームステイをとおして、国際的視野と豊かな心で未来を開き、国際社会に貢献できる国際人の育成を推進しています。



今年度は、中学生23名をパートナーシティ提携都市ドイツ/ヴォルフスブルグ市へ派遣し、同世代との活発な交流を行いました。

中学生海外派遣の記録

- 【日 程】平成27年11月1日(日)～11月7日(出)
- 【訪問国】ドイツ連邦共和国 ヴォルフスブルグ市ほか
- 【参加者】中学生23名、引率5名
- 【内 容】ホフマン・フォン・ファーラーズリーベン実科学校での交流活動、ホームステイ、市表敬訪問、施設見学等

ハートにキュン！ 親・近・感！

 **豊橋商工信用組合**

理事長 加藤 満

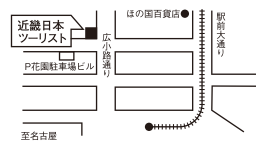
豊橋市前田町一丁目9番4
TEL (0532) 53-2828

個人から団体旅行まで…
あなたの夢をプランニング

人が好き。地球が好き。旅がスキ。
 **近畿日本ツーリスト**

豊橋営業所

個人旅行(0532)54-4891
団体旅行(0532)54-6410



※営業時間10:00～18:00(日・祝日は休業)